

花巻市公設地方卸売市場運営協議会

(記録)

日時：平成 28 年 8 月 2 日 (火) 14 : 00～15 : 30

場所：花巻市公設地方卸売市場 小会議室

<次 第>

- 1 開 会
- 2 開設者挨拶
- 3 会長・副会長の選出
- 4 会長挨拶
- 5 議題
 - (1) 花巻市公設地方卸売市場の運営状況について
 - (2) 平成 27 年度青果棟低温売場整備事業の概要について
- 6 その他
 - (1) 第 10 次卸売市場整備基本方針及び第 10 次岩手県卸売市場整備計画について
- 7 閉会

□会議の内容（概要）は、以下の通り （進行：古川場長）

1 会議の成立宣言

[出席委員]

笹木 賢治 委員、南屋敷 武一 委員、照井芳孝 委員、阿部 征子 委員、
清水 正子 委員、高橋 郁子 委員、佐藤 庄一 委員、佐藤 政志 委員、
前田 一人 委員、藤田 康雄 委員

[欠席委員]

小原秀一委員、藤本 眞津子 委員、阿部 勝昭 委員

委員 13 名中 10 名の出席を確認

(花巻市公設地方卸売市場条例施行規則第 53 条第 2 項の規定のより成立)

2 委嘱状交付

開設者から各委員へ委嘱状を交付

3 事務局（商工労政課職員）紹介

4 開会 14:00

5 開設者あいさつ（要旨）

この協議会は、市場業務の運営にそれぞれのお立場から皆様方のご意見を反映して参るために設置されているところである。

本日は、市場の運営状況と昨年度実施しました低温売場整備事業の概要について、委員の皆様方から建設的なご意見・ご提言をいただきたい。

最近の市場内の流通は、インターネットを用いた産地直送など新しいチャネルの普及や生産者による直売の台頭、大型量販店の産地買付の増加や物流センターの整備などにより、全国的な傾向として市場経由率が低下しております。また、市民の食生活やライフスタイルの変化から、生鮮食料品等の消費が減少するなど、卸売市場を取り巻く環境は厳しいものとなっている。

このような状況の中、当市場としては、コールドチェーンシステムの確立を目指し、昨年度、青果棟に新たな低温売場を整備したところである。

当市場は、青果物と水産物を取り扱う市場として、花巻地方及びその周辺市町村の方々に安全で安心な生鮮食料品を供給する役目を、青果・水産両卸売会社及び両組合と、努めていく所存である。

委員には、任期中のご協力をお願いする。

6 会長・副会長の選出

（経過省略）

藤田康雄委員を会長に選出

阿部征子委員を副会長に選出

7 会長挨拶

藤田委員が会長席に移り、あいさつ（内容省略）

（ここから、花巻市公設地方卸売市場条例施行規則第52条第2項に基づき藤田会長が議事進行）

8 会議の公開について

会議の公開又は非公開について、本協議会に諮り公開することを承認（花巻市審議会等の会議の公開に関する指針）

9 議題

（1）花巻市公設地方卸売市場の運営状況について

資料により事務局説明（説明内容省略）

○質疑等（主なもの）

南屋敷委員：県外への転送の割合が多いため、今後は、県内の商圈領域を広げていきたい。

- 阿部委員 : 市内の産直は増えているように思うが、影響はあるのか。
- 笹木委員 : 影響はある。人口減少や野菜離れ、産直ブームなど、市場を経由しないため、取扱高が減っている。
- 前田委員 : 買受人の数、構造に変化はあるのか。
- 南屋敷委員 : 15年程前から減少している。買受人がスーパーで出来ない事など、何等かに特化したことができると良いと思う。

(2) 平成27年度青果棟低温売場整備事業の概要について
資料により事務局説明 (説明内容省略)

- 笹木委員 : 青果物は温度により左右される。5月から6月、軟弱な野菜は早く傷んでしまう。低温管理することで、単価面、鮮度面においてもお店、消費者、生産者、全ての方にとって良いこととなる。夜に持ち込まれたものでも、そのままの状態です翌日のセリに出せる。県内で他にない施設である。電気料も減り、鮮度も保持されている。
- 佐藤(庄)委員 : 規模(面積)が大きくても、電気料が安いということは良いと思う。
- 笹木委員 : 古いもの(整備前の保冷库)に比べると安いということ。以前の施設は老朽化していたこともあり、冷気が外に漏れてしまい常に稼働していた状態であった。
- 高橋委員 : 委員となり、今回始めて出席し、状況が見えてこないが、低温売場が整備され、消費者として、コストが安くて、鮮度の良いものが届くことは有難い。少しずつ改善されていけば良いと思う。
- 笹木委員 : 青果の買受人も減ってきている。公設卸売市場がなくなれば、盛岡や金ヶ崎に買受に行かなければならない。委員にもご理解いただきたい。
- 佐藤(庄)委員 : 青果の買受人が68人とあるが、市内だけか。
- 笹木委員 : 盛岡など、市外の買受人もいる。青果物の入荷はJA、全農からも入荷があるが、平成3年をピークに減ってはいるが、また戻ってきている。
- 照井委員 : 低温売場を利用する立場(花巻青果業協同組合)として、卸先まで低温で届けることが良いと思っており、課題である。
- 藤田会長 : これまでも施設改修をしているが、市場内のLED化についてはどう考えているか。
- 事務局 : 施設も40年を経過し老朽化しており修繕が必要。また、2020年のフロンガスの問題もあり、冷却施設においても改修が必要であり経費も多額となるが、今後、LED化についても改修と合わせて検討していく。
- 笹木委員 : 市場内のLED化について、改修費用はかかると思うが電気料が減ることで、数年で回収できると思う。早くやるだけ良い。

藤田会長：電気料に関して、様々な相関関係が考えられる。検討されたい。

6 その他

(1) 第10次卸売市場整備基本方針及び第10次岩手県卸売市場整備計画について

資料により事務局説明（説明内容省略）

（質疑等なし）

7 閉会 15:30